

# 平成26年度 第3回高士区地域協議会

## 次 第

日時：平成26年6月27日(金)午後6時30分～

会場：公民館高士分館 2階 中会議室

1 開 会

2 会長挨拶

3 議 題

- ・ 自主的審議につなげるための高士区の現状分析について

4 その他

5 閉 会

## 高士区自主的審議について

### ■ これまでの経緯

- ・ H25年6月の協議会で自主的審議につなげるための高士区の現状分析について協議

→

#### ② 持続可能なコミュニティのあり方を検討したい

- 若い世代との価値観の融合策（意見交換の場を設ける等）を検討したい。
- 新しい住民参加のあり方やコミュニティの枠組みを検討したい。

※この時に委員から出た意見について下記のとおりまとめました。

- 体育協会、スポーツ関係で若い人たちと一緒に、若い人たちを誘い込んで、その中で反省会などをやりながら若い人たちと意見交換を行う。
- 今まではソフトボールをやっていた→ 皆が気軽に参加できるスポーツを見つけて交流する。
- P T Aや消防団などと協議会が懇談する機会をつくり、若い人たちと意見交換を行う。
- 町内の行事を若い人たちを誘い、一緒に運営する。  
(例：飯田祭り、飯田川の桜の花見)
- 高士まつりは、もっと若い人たちに協力してもらい、若い人が中心となっていくような祭りにしなくてはいけない。
- 高士の風景をフェイスブック等に掲載するとすごく反響がある。→ 他地区の人にとっては魅力的な風景が沢山あると思う。
- 若い世代にどうやって高士区の魅力を感じてもらうかが重要。
- 地区の行事を行うときに小学生や中学生に協力してもらい、一緒に行事の運営等を行う。
  - 子どもの頃から高士区の行事に馴染んでもらう
  - 子どもが参加することで、お父さん・お母さん世代も協力的になるのでは？
- ニュースポーツを紹介する機会を設けたい。
- いろいろな形でいろいろなスポーツを大勢の人に観てもらったり、参加してもらったりしたい。

結 果

② 持続可能なコミュニティのあり方について検討していく

※検討課題が決定したので、次は《方法論》を考えるとということで、前回の協議会は終了しています。

■ 今後の方針について

《事務局案》

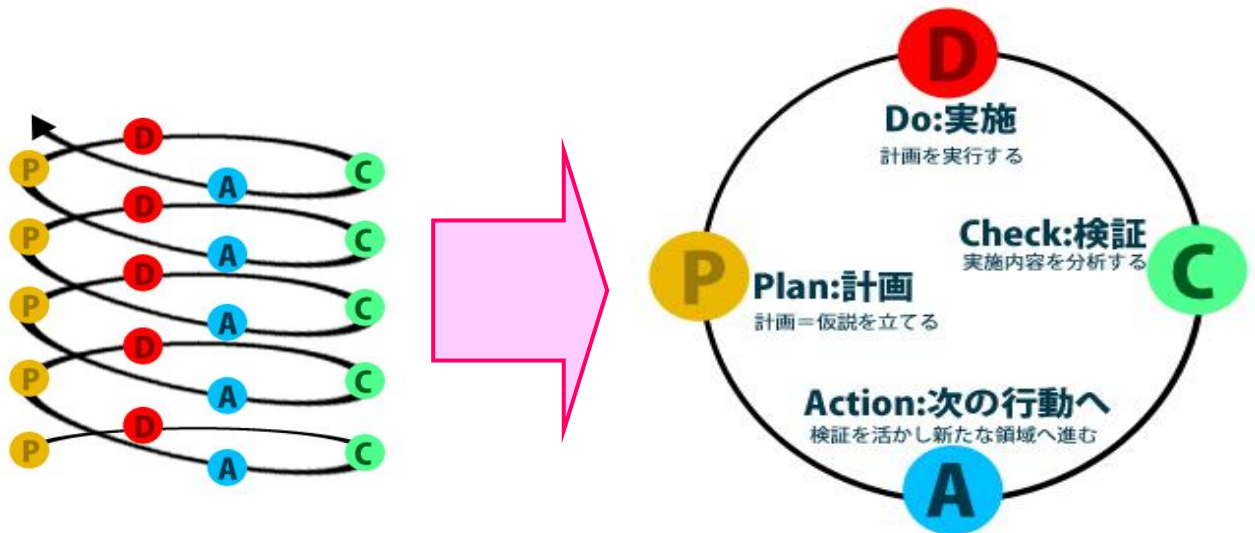
一度、若い世代と協議会で「意見交換会」を開催してはいかがでしょうか。

「スポーツを通じた交流」、「祭りへの参加」など様々な意見が出ていますが、まずは【若い世代】と【協議会や振興協議会等】それぞれがお互いの考え方を知り、情報を共有するところからスタートしてみてもはいかがでしょうか。その中で、例えば「スポーツを通じて交流したい」という意見にお互いが同意すれば、その目標に向かって動き出すことができると思います。また、その中でもっと良い提案が生まれるかもしれません。

※そこで…『PDCAサイクル』を用いて、進めてみてはいかがでしょうか。

PDCAサイクルとは？

PDCAサイクルは、欧米で使われているマネジメントサイクルの典型例です。物事を進めるうえで、計画と実行、結果の収集とレビューを継続的に行って、その内容を改善しながら次の段階へと進めていくことを「PDCAサイクル」と呼んでいます。



Plan : 計画	○計画＝仮説を立てる
Do : 実践	○計画を実行する
Check : 検証	○実施内容を分析する
Action : 次の行動へ	○検証を活かして新たな領域へ進む

# (案)

Plan

●若い世代との意見交換を実施するための計画を立てる

## ①対象は？

若い世代といっても、個人に声をかけて集まってもらうのは難しいと思います。そこで、若い世代が所属する団体に声をかけてみてはどうでしょうか。

《団体の候補を考える》

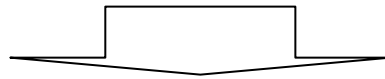
--

## ②意見交換のテーマは？

何もない中で話をしても進まないと思うので、いくつかのテーマを設定し、そのテーマに沿って意見交換を行ってはいかがでしょうか。


《若い世代から聞き出したいこと》

--



《聞き出したいことへ導くためのテーマ設定》

--

<p>Plan</p>	<p>●若い世代との意見交換を実施するための計画を立てる</p>	<p>③意見交換会当日までの流れを決める 意見交換会の実施までに必要なことを話し合い、当日までの段取り及び役割分担を決めてはいかがでしょうか。 《当日までにやることと役割分担》</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手とのやり取り → ○○委員、○○委員</li> <li>・資料の作成 → 事務局</li> </ul> </div>
<p>Do</p>	<p>●若い世代との意見交換会を実施する</p>	<p>※協議会の「議題」として、意見交換会を行ってはいかがでしょう。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 塩坪会長あいさつ</li> <li>3 議題 <ul style="list-style-type: none"> <li>・若い世代との意見交換会について</li> </ul> </li> </ol> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◆事務局より本日に流れについて説明</p> <p>◆以降、塩坪会長の進行で設定したテーマに沿って意見交換を行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>テーマ1 △△△について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員が意見を発言</li> <li>↓</li> <li>・若い世代に意見を求める</li> <li>↓</li> <li>・若い世代が意見を発言</li> <li>↓</li> <li>・結論</li> </ul> </div> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>※繰り返す</p> </div> </div> <p>(結論までいかない場合は時間で区切って次のテーマに進むようにする)</p> </div> <ol style="list-style-type: none"> <li>4 その他</li> <li>5 閉会</li> </ol>

<p>Do</p>	<p>●若い世代との意見交換会を実施する</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;"><b>方法Ⅱ</b></p> </div> <p>※地域協議会とは別に、「高士地区振興協議会」と協力して「若い世代との懇談会」のようなものを開催してみてはいかがでしょうか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;"><b>《参考》</b></p> <p>諏訪区では、「諏訪の里づくり協議会」と協力して、「諏訪の未来を考える懇談会」を実施しています。(H26年2月12日と4月16日の2回開催済)</p> <p>諏訪の場合は、ターゲットを若い世代に限定せず、誰でも自由に参加できる環境で行っています。</p> </div>
<p>Check</p>	<p>●若い世代との意見交換会の結果を検証する。</p>	<p>※意見交換の内容を協議し、高士区の課題解決に向けた今後の方針を検証してはいかがでしょうか。 (具体的には…)</p> <p>《意見交換会の内容について協議を行う》</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;"><b>★ポイント★</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・若い世代の「思い」は何か</li> <li>・協議会と若い世代で共通している「思い」は何か</li> <li>・協議会と若い世代で意見が異なる点は何か</li> </ul> </div> <p>《協議の結果を踏まえ、今後の方針を決定する》</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;"><b>★例★</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共通の「思い」(例えば、スポーツ大会を開催し、世代間交流をしたい)の実施に向けて動き出す</li> <li>・もう一度、意見交換会を実施する</li> <li>・若い世代が地域活動に参加している先進地を調べる</li> </ul> </div>
<p>Action</p>	<p>●決定した「今後の方針」について具体的に動き出す</p>	

## 自主的審議につなげるための意見交換

### ■ 高土区の将来予測と検討の必要性

負のスパイラルの中、人口減少に歯止めがかかっていない！

高齢者が増える  
子どもが減る

コミュニティ  
活動の停滞

生活機能（移動・教育・  
買物）が徐々に低下

若年者の流出と  
人口の自然減

何もしなければ、ここで暮らし続けることが難しくなる時代が将来くるかもしれない…  
明るい高土区の未来を描くためには、これから何をしたらよいでしょうか！

### ■ 高土区協議会委員が考える今後検討していきたい事項（現時点）

これまでの発言や提出シートの内容をまとめると大枠で次の5つの検討方向が考えられる。

#### ① 農業をはじめとする高土区の産業活性化策を検討したい

- 高土区の特産品を掘り起し、磨きあげて地域産業の活性化と外貨獲得につなげたい。
- 高土区産のブドウの付加価値を高める方策を検討したい。（研究施設の設置など）
- 地元産の大豆の加工工場を誘致できないか研究したい。
- 清里・三和区を含めた新しい観光ルートを提案し、地域の産物の魅力を発信したい。
- 農業後継者を育成するための方策を検討したい。

#### ② 持続可能なコミュニティのあり方を検討したい

- 若い世代との価値観の融合策（意見交換の場を設ける等）を検討したい。
- 新しい住民参加のあり方やコミュニティの枠組みを検討したい。

#### ③ 転入者を増やし、人口減少スピードを緩める方策を検討したい

- 遊休地を住宅用地として提供するための方策を検討したい。
- 空き家への入居を促進する方策を検討したい。

#### ④ 地域内外の住民との交流を拡大するための方策を検討したい

- 国道405号線に道の駅を開設できないか研究したい。
- 旧高土中学校の跡地を活用し、人が集まる施設にできないか研究したい。
- 北方城跡の活用策を検討したい。
- 若者が中心となった地区全体の新しいイベントを開催できないか検討したい。

#### ⑤ 運転ができなくても安心して生活していただくための方策を検討したい

- 日常の買い物利便性を維持するための方策を検討したい。
- 通院等の移動手段を確保するための方策を検討したい。
- 特別養護老人ホームを区内に整備できないか研究したい。
- 高齢者のための居住施設が整備できないか研究したい。

### ■ 意見交換のポイント

- ① 高土区の実情に相応しい内容かどうか？
- ② 具体的な手法が見えてくるか？
- ③ それぞれの検討事項で課題（ボトルネック）となるものは何か？
- ④ ボトルネックとなっているものは、地域住民だけで解決できるか？
- ⑤ 行政との連携が必要な検討項目かどうか？
- ⑥ 取組の採算性はどうか？
- ⑦ 具体的に動かした場合、持続可能性は高いか？
- ⑧ 取組の実施主体として相応しい団体や人物は考えられるか？



### ■ 自主的審議による到達目標

最終的には次の2通りが考えられる。

- ① 市に意見書（意見や提案）を提出する。
- ② 最適な実施主体に働きかけ、取組みを促す。（必要に応じて地域活動支援事業を活用）

## SWOT分析による自主的審議事項の検討シート（高士区）

	<b>機会（Opportunities）</b> A 地域協議会や地域活動支援事業の活用 B 山際の周辺観光地と連携して魅力的な観光地を作ることができる（坊ヶ池、米と酒の謎蔵、信越トレイル、光ヶ原） C 国道 405 号線が通っていることで、他地域とのつながりがある D バス路線がある E 重川用水の補修工事	<b>脅威（Threats）</b> a 人口減少、少子高齢化の進行 b 国道 405 号線があることによって、交通事故の脅威やごみの投げ捨てが多い c 若者の事業参加が少ない d バスの運行する回数が少ない e 山林の乱開発への不安（景観が悪くなる） f ケーブルテレビの範囲外、都市ガスの不配備 g 新幹線開通の恩恵を受けることができない h 高規格道路が通らない i 高田平野東端断層の真上に位置する j 義理人情味が少なくなった（個人主義）
<b>強み（Strengths）</b> (1) 岩の原葡萄園がある（川上善兵衛、国指定登録有形文化財の石蔵、他地域からの集客が期待できる等） (2) 地区内の組織が整っていて、活動が活発である (3) 地域にまとまりや連帯感がある (4) 自然に恵まれている (5) 三世同居が多い (6) 美人が多い (7) 教育に熱心である (8) 駐在所、消防分遣所、郵便局、小学校、保育園、こどもの家がある (9) 犯罪が少ない (10) 人に誇れる歴史がある（高士古墳、北方城跡等） (11) 人柄がよく住みやすい (12) 災害（特に水害）が少ない (13) 子どもと住民とのあいさつ、コミュニケーションがよい (14) 意欲的な大規模農業者が多い (15) 稲作に適した場所である（灌漑の充実、土壌や地形がよい） (16) 元気な高齢者が多い (17) 造り酒屋がある	「強み」によって「機会」を最大限に活用するために取り組むべきことは何か？  （例）岩の原葡萄園や多くの歴史的資源を有効に活用することによって、交流人口増加策を検討する。	「強み」によって「脅威」による悪影響を回避するために取り組むべきことは何か？  （例）人口減少に対し、三世同居や地域にまとまりがあることを活かした子育て支援策を検討する。
<b>弱み（Weaknesses）</b> ① 雪が多い（高齢者世帯の除雪問題、降雪時の通行が不便） ② 地区としての特徴に乏しい（特産品がない、高士を売り込む意欲がない） ③ 高齢者のひとり暮らし世帯の増加 ④ 特別養護老人ホームがなく、介護の環境が整っていない ⑤ 川上善兵衛、岩の原葡萄園を知らない人が多い、岩の原葡萄園を活かしきれしていない（新しい発展に乏しい、客がそのまま素通りし、滞在型観光地になりにくい） ⑥ 滞在型施設や日帰り入浴施設がない ⑦ 若者の流出（雇用の場が少ない、団地がない） ⑧ 中心地から遠い（車の運転ができない人にとって不便、通勤が不便） ⑨ 買い物に不便（スーパーや商店がない、買い物難民の増加） ⑩ 中学校が遠い、高校がない ⑪ 農業の後継者不足、農業以外の産業がない ⑫ 地域の歴史的財産を活用できていない ⑬ 人柄がまじめで内向的	「弱み」によって「機会」を逃さないために取り組むべきことは何か？  （例）高齢者のひとり暮らしが増加する中で、高齢者の居場所づくりや高齢者への支援体制について検討する。	「弱み」と「脅威」により最悪の結果となることを回避するために取り組むべきことは何か？  （例）高齢化が進行する中で日常の買い物利便性が低下することがないように、地域ぐるみで買い物利便性を向上させる取り組みを検討する。